

昭和100年展

昭和30年代

1955～1964

新野々市町の誕生と農業の発展

昭和 30(1955) 年、野々市町と富奥村が合併して新野々市町が発足。昭和 31(1956) 年には郷地区、昭和 32(1957) 年には押野地区が編入し、現在の野々市の形となりました。

この頃の野々市は、農業が中心で、「農業青年研修所」(太平寺)を核に近代農業の指導者の養成が行われました。動力耕耘機が導入され、稲作の機械化・省略化が進むと、労働力に余裕ができた農家が兼業するようになりました。

昭和 36(1961) 年には、末松廃寺跡から和同開珎銀銭が発見されました。



昭和 30(1955) 年 富奥地区合併祝賀会行進



昭和 32(1957) 年 富奥小学校周辺



昭和 34(1959) 年 本町にあった野々市劇場



昭和 38(1963) 年 三八豪雪



昭和 38(1963) 年 野々市町統合小学校完成



昭和 39(1964) 年 東京オリンピック聖火リレーが町内通過